

# 海外遠征指導者派遣報告書

報告者：井本善友

【時期】 2017年 9月28日（木）～10月13日（金） 2フューチャーズ  
10月15日（日）～10月22日（日） スーパージュニア

【場所】 タイ（ノンタブリ）

日本（大阪・靱テニスセンター及び 兵庫・ビーンズドーム）

【選手】 清水悠太  
羽澤慎治

【帯同指導者】 リキ・マクラ克蘭（ニュージーランド）

【結果】 第1週：清水悠太 ベスト4  
羽澤慎治 予選2回戦  
第2週：清水悠太 本戦1回戦  
羽澤慎治 ベスト8

スーパージュニア：清水悠太 シングルス優勝

【総評】 ダブルススペシャリスト・ベン・マクラ克蘭の兄のリキ・マクラ克蘭氏に要請して、日本のトップジュニアである清水悠太選手と羽澤慎治選手の帯同していただいた。これまで日本人のコーチングしか受けたことがなかった両選手には、大変貴重な経験になったと言える。我々日本人とは違った目線、普段日本人選手達を外から見ている指導者に、両選手がどのように映るのか大変興味深かった。海外の指導者に共通して言えることは、個々の選手の良いところを見ているということである。各選手の良いところを引き出す事を考え、改善の余地のあるパートに関しては、指摘をするよりも捉え方や目先を変えさせることを優先する。羽澤選手は第1週の予選2回戦で敗退したが、予選2日間の試合を通してベストマッチであったと説明を受けた。清水選手に対しては、より積極的なプレーをしようと思いきりすぎてミスが多く出ていたそうだが、何より現状を打破しようとする姿勢を評価し、やり通す事で自分の最適なゾーンを見つけることが出来るようになると説明していた。両選手からもマクラ克蘭氏に対して高評価を得ている。人柄や指導姿勢が素晴らしく、今後も機会があれば要請をかけて選手達の帯同をお願いしたい貴重な指導者である。